

# 施策分析シート（令和元年度）

No1

<b>施策名</b>	介護予防の推進	<b>施策No</b>	02-02	<b>部課名</b>	福祉部高齢者福祉課		
				<b>課長名</b>	堀 内線 2660		
<b>関連部課名</b>	福祉部介護保険課、健康部健康推進課						
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	I	生涯健康都市				
	<b>政策</b>	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成				
<b>目的</b>	健康寿命の延伸のため、誰もが積極的、自主的に多様な介護予防活動に取り組めるよう支援する。また、認知症に対する区民の理解を促し、早期発見・早期診断・早期治療を通して、症状の進行を遅らせる等により、在宅生活を続けることができる体制を整備する。						
<b>指</b>	<b>幸福実感指標名</b>	<b>指標の推移</b>			<b>指標に関する質問文</b>		
		28年度	29年度	30年度			
	① 福祉の充実度	3.05	3.08	3.05		お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？	
	②						
	③						
<b>標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>	
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み		目標値(8年度)
	① 要介護等認定者出現率（65歳～74歳、％）	4.77	5.00	4.86	5.18		3.70
	② 要介護等認定者出現率（75歳以上、％）	31.43	31.37	31.19	31.86		31.50
	③ 認知症サポーター数（累計、人）	11,371	13,046	14,206	15,200		24,000
	④ 介護を必要としない高齢者の割合（％）	82.0	81.7	81.6	80.9		78.8
⑤					要介護認定を受けていない高齢者数/第1号被保険者数		

（単位：千円）

<b>行政コスト計算書</b>	<b>勘定科目</b>	29年度	30年度	差額	<b>勘定科目</b>	29年度	30年度	差額
	給与関係費	62,741	92,685	29,944	地方税	0	0	0
	物件費	347,809	423,759	75,950	国庫支出金	271,190	302,245	31,055
	維持補修費	0	0	0	都支出金	135,738	136,687	949
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	404,657	379,178	▲ 25,479	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	8	9	1	その他	273,982	277,103	3,121
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	680,910	716,035	35,125
	賞与・退職給与引当金繰入額	10,775	5,811	▲ 4,964	行政収支差額(a)-(b)-(c)	▲ 145,080	▲ 185,407	▲ 40,327
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	825,990	901,442	75,452	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 145,080	▲ 185,407	▲ 40,327
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	91	91
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	91	91	当期収支差額(e)+(h)	▲ 145,080	▲ 185,316	▲ 40,236	
<b>貸借対照表</b>	<b>勘定科目</b>	29年度	30年度	差額	<b>勘定科目</b>	29年度	30年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	2,497	3,425	928
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	▲ 105,821	▲ 460,629	▲ 354,808	賞与引当金	2,497	3,425	928
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	23,780	30,103	6,323
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	23,780	30,103	6,323
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	26,277	33,528	7,251
	無形固定資産	0	82	82	正味財産	▲ 132,098	▲ 494,075	▲ 361,977
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 132,098	▲ 494,075	▲ 361,977	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	▲ 105,821	▲ 460,547	▲ 354,726	
資産の部合計	▲ 105,821	▲ 460,547	▲ 354,726					

### 財務諸表に関する特記事項等

- 行政費用のうち物件費が一番多く計上されている。
- 29年度と比較して物件費が増えている主な理由は、地域包括支援センターへの委託料の増額である。
- 補助費等のうち約7割が国民健康保険団体連合会へ負担金として支払っている通所介護費である。29年度と比較して第1号通所事業通所介護の利用者数が減っているため、費用も減っている。
- 行政収入に計上されているのは主に、国及び都からの地域支援事業交付金である。
- 行政収入の「その他」には主に、地域支援事業支援交付金が計上されている。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○区では、様々な介護予防事業を実施しているが、男性の参加者が少ない傾向にある。</p> <p>○後期高齢者の増加に伴い、認知症等により介護サービスが必要になる方が増加しており、今後も更なる増加が予測される。</p> <p>○認知症に関する正しい理解を学ぶ認知症サポーターの数は平成19年の制度開始当時は403人だったが、平成30年に14,000人を超えるなど、毎年着実に増加している。</p>
課題	<p>○健康づくりや介護予防の活動に対する区民の意識を高め、活動への動機付けを行っていく必要がある。</p> <p>○介護予防事業の目的に沿った対象者の参加がなかったり、期待される効果が得られていないメニューがあるため、メニューの見直しや充実を図る必要がある。</p> <p>○認知症に対する正しい理解を普及するとともに、早期発見・早期診断の体制を整備する必要がある。</p> <p>○認知症の方やご家族等が集う「認知症カフェ（オレンジカフェ）」の運営を支援し、担い手を育成するとともに、認知症サポーターを地域での具体的な活動に結び付けることが求められる。</p>
今後の方向性	<p>○区民を介護予防活動に誘引するための方策を工夫するとともに、活動の継続を支援していく。</p> <p>○参加が少ない男性の参加を促すことを念頭に置きつつ、介護予防・日常生活支援総合事業などの介護予防に関するメニューを充実させていく。</p> <p>○相談体制の充実及び認知症初期集中支援チーム、医療機関との連携強化を図るなど、認知症の早期発見・早期診断のための体制を構築する。</p> <p>○認知症サポーターの更なる養成を進めるとともに、サポーターへのフォローアップ研修の実施、認知症カフェ（オレンジカフェ）の支援など地域での支え合いの輪を広げていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
元年度	2年度	
重点的に推進	重点的に推進	健康寿命の延伸を図り、要介護状態にならないための早期からの介護予防と、重症化を防止するための早期対応可能な体制の構築を重点的に推進していく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
ふれあい絆・活サロン補助事業	08-03-21	1,688	1,747	1,688	1,135	継続	継続	多様な主体による介護予防の取組を支援することで、地域での自主的な取組を促進していくために継続する。
地域リハビリテーション活動支援事業	08-03-31	3,989	3,867	996	1,230	継続	継続	ニーズがあり、自立支援のためには必要な事業であり、継続する。
介護予防普及啓発事業	08-03-32	16,275	13,437	19,223	10,029	推進	推進	高齢者が介護予防に積極的に取り組み、できるだけ長く健康を維持するよう、引き続き推進していく。
介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス）	08-03-33	107,948	103,565	101,151	96,652	推進	推進	平成27年4月に開始した総合事業に要支援者等を適切につなげ、要介護にならないよう介護予防を推進していく。
介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）	08-03-34	349,040	330,933	334,978	319,508	推進	推進	平成27年4月に開始した総合事業に要支援者等を適切につなげ、要介護にならないよう介護予防を推進していく。
介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防ケアマネジメント）	08-03-35	59,619	55,451	50,972	48,156	推進	推進	効果的で効率的な介護予防事業を展開し、介護予防を推進していく。
認知症予防通所事業	08-03-36	22,690	14,424	13,935	8,263	継続	継続	予防活動への取組は重要なため継続する。
認知症サポーター等養成事業	08-03-37	3,678	8,689	1,720	1,609	推進	継続	認知症に関する事業の基本的体制が整ったことから、引き続き認知症高齢者と家族を支援するとともに、関係機関との連携を図り地域づくりを進める。
認知症普及啓発事業	08-03-38	0	59,134	—	50,092	推進	推進	認知症に関する事業の基本的体制が整ったことから、引き続き認知症についての普及啓発を図りながら、地域で支える地域づくりを進める。
認知症早期発見・早期治療事業	08-03-39	0	11,652	—	3,925	推進	推進	事業の有効的な利用や関係機関と連携しながら、認知症の早期診断・治療に結びつけられるよう推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		29年度	30年度	29年度	30年度	元年度	2年度	
地域包括支援センター事業	08-03-40	240,807	275,597	234,729	269,126	重点的に推進	重点的に推進	地域における高齢者の総合相談窓口として、迅速かつ適切に対応するため、センターの運営体制を強化し、充実を図る。
いきいきボランティアポイント制度事業	08-04-22	3,051	6,940	1,280	1,389	重点的に推進	継続	ボランティア活動を通して地域貢献することを奨励・支援し、また高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防を促進していく上で、重要な事業であることから、継続して実施する。
健康づくり体操事業	09-02-06	17,203	16,005	3,339	3,061	重点的に推進	推進	参加者の転倒予防と閉じこもり予防に成果があり、小地域のコミュニティ形成の一翼を担っている。新たにフレイル予防の視点が加わり、区民の健康づくり、介護予防には欠かせない事業であるため、推進する。
合計		825,988	901,441	764,011	814,175			